



ハードウェア リファレンス ガイド

© Copyright 2018, 2019 HP Development Company, L.P.

Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HP Development Company の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

改訂第 2 版：2019 年 7 月

初版：2018 年 6 月

製品番号：L20661-293

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

Windows のエディションまたはバージョンによっては、一部の機能を使用できない場合があります。システムで Windows の機能を最大限に活用するには、アップグレードされたハードウェアや別売のハードウェア、ドライバやソフトウェア、または BIOS の更新が必要になる場合があります。Windows 10 は自動的に更新され、自動更新は常に有効になっています。更新中にプロバイダー料金がかかったり追加要件が適用されたりすることがあります。詳しくは、<http://www.microsoft.com/> を参照してください。

最新版のユーザー ガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザー ガイド]**を選択します。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP 使用許諾契約 (EULA) の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品 (付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア) を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの代金の返金を要求する場合は、販売店に問い合わせてください。

このガイドについて

このガイドでは、このコンピューターの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

-
- ⚠ **警告** : 回避しなければ重傷または死亡に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - ⚠ **注意** : 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - 📌 **重要** : 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 - 📖 **注記** : 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 - 💡 **ヒント** : タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

目次

1 製品の特長	1
概要	1
HP ProOne 600 21.5 インチおよび HP ProOne 400 23.8 インチの各部	2
前面の各部	2
側面の各部	3
背面の各部	4
底面の各部	5
HP ProOne 400 20 インチの各部	6
前面の各部	6
側面の各部	7
背面の各部	8
底面の各部	8
特別なキー	9
シリアル番号と製品番号の位置	9
2 セットアップ	10
概要	10
スタンドの取り付けおよび取り外し	10
高さ固定スタンドの取り付けおよび取り外し	11
高さ固定スタンドの取り付け	11
高さ固定スタンドの取り外し	11
高さ調節可能なスタンドの取り付けおよび取り外し	12
高さ調節可能なスタンドの取り付け	12
高さ調節可能なスタンドの取り外し	12
固定器具へのコンピューターの取り付け	13
ケーブルの接続および取り外し	15
ケーブルの接続	15
モニターの接続	15
ケーブルの取り外し	15
コンピューターの調整	16
高さ固定スタンドの調整	16
高さ調節可能なスタンドの調整	17
セキュリティロックケーブルの取り付け	18
電源の接続および切断	18
電源の接続	18


電源の切断	19
Web カメラ	19
Web カメラの操作	19
[Windows Hello]の設定	19
別売の無線キーボードおよびマウスの同期	20
3 ハードウェアの修理およびアップグレード	23
警告および注意	23
追加情報	23
オプションの無線キーボードおよびマウスの電池の取り外し	24
背面カバーの取り外しおよび取り付け	25
背面カバーの取り外し	25
背面カバーの取り付け	25
内部部品の位置	26
メモリの取り外しおよび取り付け	27
メモリ モジュールの仕様	27
メモリ モジュール スロットへの取り付け	27
メモリ モジュールの取り付け	28
リアルタイム クロック用電池の交換	30
ドライブの交換	31
ハードディスク ドライブの交換	31
ハードディスク ドライブの取り外し	31
2.5 インチ ハードディスク ドライブの取り付け	32
オプティカルディスク ドライブの取り付け	33
付録 A 静電気対策	34
静電気による損傷の防止	34
アース（接地）の方法	34
付録 B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意	35
コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意	35
オプティカルディスク ドライブの使用上の注意	36
運搬時の注意	36
付録 C ユーザー サポート	37
ユーザー サポート	37
必要なテクノロジー ツールの確認	37
HP の取り組み	37
IAAP（International Association of Accessibility Professionals）	38

最適な支援技術の確認	38
ご自身のニーズの評価	38
HP 製品のユーザー サポート	38
標準および法令	39
標準	39
Mandate 376 – EN 301 549（欧州連合同向け）	39
WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）	39
法令および規制	40
United States（米国向け）	40
21st Century Communications and Video Accessibility Act (CVAA)（米国向け）	40
Canada（カナダ向け）	41
Europe（欧州向け）	41
United Kingdom（英国向け）	41
Australia（オーストラリア向け）	41
全世界	41
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク	42
組織（英語のみ）	42
教育機関（英語のみ）	42
障がいに関するその他のリソース（英語のみ）	42
HP のリンク	43
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	43
索引	44

1 製品の特長

概要



 **注記** : 最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。[ユーザーガイド]を選択します。

HP ProOne 600 21.5 インチおよび HP ProOne 400 23.8 インチの各部

前面の各部



表 1-1 HP ProOne 600 21.5 インチおよび HP ProOne 400 23.8 インチの前面の各部

前面の各部

(1) Web カメラのマイク (×2) (オプション)	(4) Web カメラ/IR レンズ (オプション)
(2) IR ランプ (オプション)	(5) IR ランプ (オプション)
(3) Web カメラのランプ (オプション)	(6) スピーカー (×2) (オプション)

側面の各部

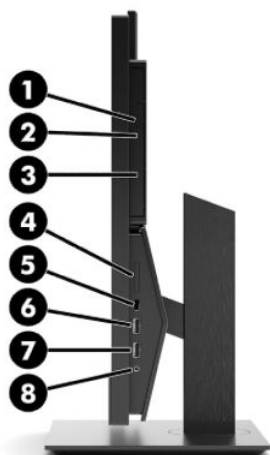


表 1-2 HP ProOne 600 21.5 インチおよび HP ProOne 400 23.8 インチの側面の各部

側面の各部	
(1) オプティカルディスクドライブ (オプション)	(5) USB Type-C ポート 注記: USB Type-C ポートではビデオ出力はサポートされていません
(2) オプティカルディスクドライブランプ (オプション)	(6) USB SuperSpeed ポート (電源オフ USB チャージ機能対応)
(3) オプティカルディスクドライブイジェクトボタン (オプション)	(7) USB SuperSpeed ポート
(4) SD メディアカードスロット (オプション)	(8) オーディオ出力 (ヘッドフォン) /オーディオ入力 (マイク) コンポコネクタ

背面の各部

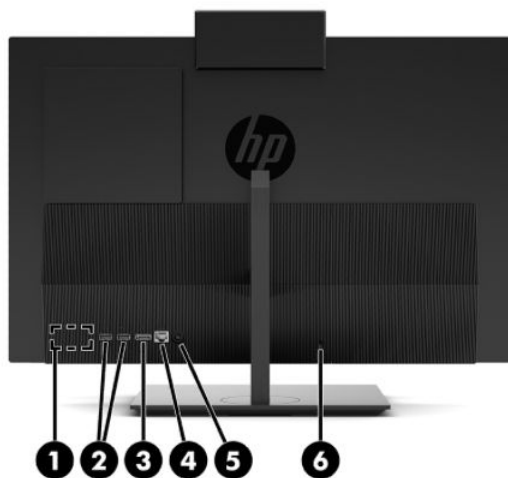


表 1-3 HP ProOne 600 21.5 インチおよび HP ProOne 400 23.8 インチの背面の各部

背面の各部

(1) DisplayPort (オプション) または HDMI 出力端子 (オプション) または シリアルコネクタ (オプション)	(4) RJ-45 (ネットワーク) コネクタ
(2) USB SuperSpeed ポート (キーボードまたはマウスからのウェイク機能付き) (×2)	(5) 電源コネクタ
(3) DisplayPort	(6) セキュリティロックケーブル用スロット

底面の各部

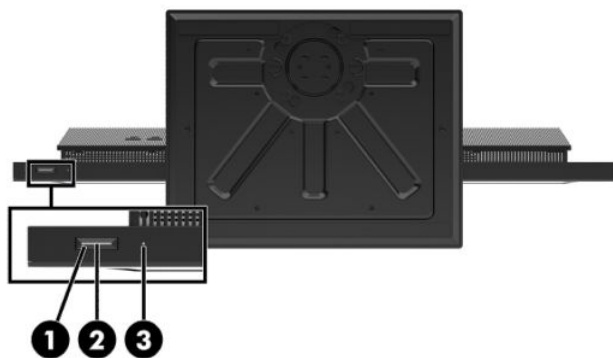


表 1-4 HP ProOne 600 21.5 インチおよび HP ProOne 400 23.8 インチの底面の各部

底面の各部	
(1) 電源ボタン	(3) ハードディスクドライブランプ
(2) 電源ランプ	

HP ProOne 400 20 インチの各部

前面の各部



表 1-5 HP ProOne 400 20 インチの前面の各部

前面の各部	
(1) Web カメラのランプ (オプション)	(3) Web カメラのマイク (オプション)
(2) Web カメラのレンズ (オプション)	(4) スピーカー (×2) (オプション)

側面の各部

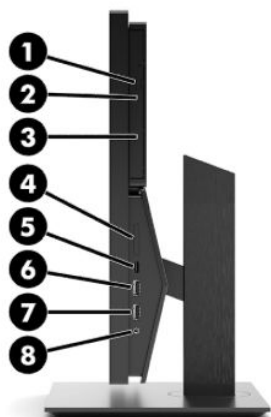


表 1-6 HP ProOne 400 20 インチの側面の各部

側面の各部	
(1) オプティカルディスクドライブ (オプション)	(5) USB Type-C ポート 注記: USB Type-C ポートではビデオ出力はサポートされていません
(2) オプティカルディスクドライブランプ (オプション)	(6) USB SuperSpeed ポート (電源オフ USB チャージ機能対応)
(3) オプティカルディスクドライブイジェクトボタン (オプション)	(7) USB SuperSpeed ポート
(4) SD メディアカードスロット (オプション)	(8) オーディオ出力 (ヘッドフォン) /オーディオ入力 (マイク) コンボコネクタ

背面の各部

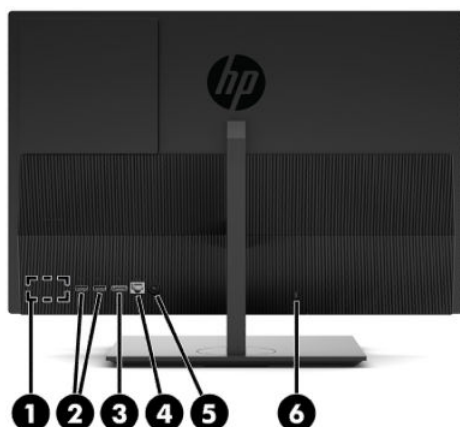


表 1-7 HP ProOne 400 20 インチの背面の各部

背面の各部

(1) DisplayPort (オプション) または HDMI 出力端子 (オプション) または シリアルコネクタ (オプション)	(4) RJ-45 (ネットワーク) コネクタ
(2) USB SuperSpeed ポート (キーボードまたはマウスからのウェイク機能付き) (×2)	(5) 電源コネクタ
(3) DisplayPort	(6) セキュリティロックケーブル用スロット

底面の各部

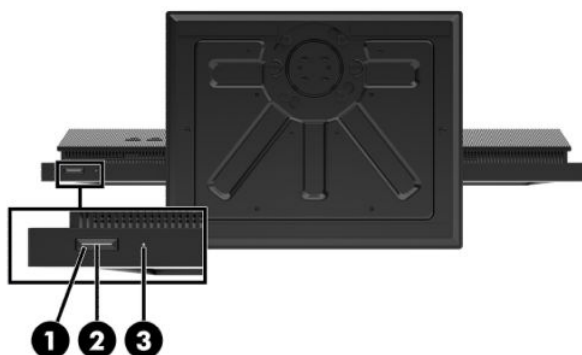


表 1-8 HP ProOne 400 20 インチの底面の各部

底面の各部

(1) 電源ボタン	(3) ハードディスクドライブランプ
(2) 電源ランプ	

特別なキー

お使いのキーボードとは異なる場合があります。

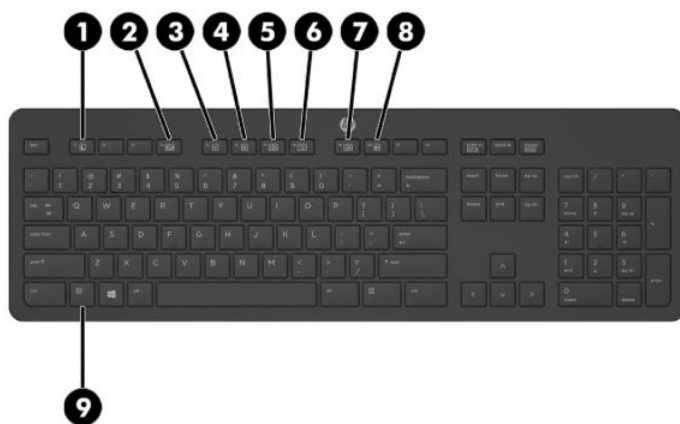
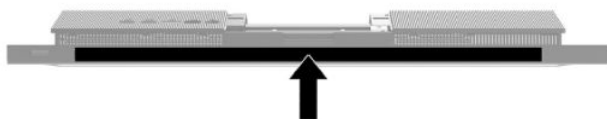


表 1-9 特別なキー

特別なキー	
(1) スリープ	(6) ミュート (消音)
(2) 巻き戻し	(7) 音量下げ
(3) 再生/一時停止	(8) 音量上げ
(4) 停止	(9) ファンクション
(5) 早送り	

シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、ディスプレイの底面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのコンピューターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。



2 セットアップ

概要

以下の順序でコンピューターをセットアップします。

- スタンドを取り付けます。 [10 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。
または
コンピューターを固定器具に取り付けます。 [13 ページの固定器具へのコンピューターの取り付け](#)を参照してください。
- 周辺機器および電源用のケーブルを接続します。 [15 ページのケーブルの接続および取り外し](#)を参照してください。
- 必要に応じて、追加のディスプレイを接続します。 [15 ページのモニターの接続](#)を参照してください。
- 背面コネクタカバーを取り付けて固定します。 [25 ページの背面カバーの取り付け](#)を参照してください。
- コンピューターの向きと表示角度を、見やすくなるように選択します。 [16 ページのコンピューターの調整](#)を参照してください。
- 安全のためにセキュリティロックケーブルを取り付けます。 [18 ページのセキュリティロックケーブルの取り付け](#)を参照してください。
- 電源を入れます [18 ページの電源の接続](#)を参照してください。
- マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。マウスとキーボードを同期しなおす必要がある場合、 [20 ページの別売の無線キーボードおよびマウスの同期](#)を参照してください。

スタンドの取り付けおよび取り外し

このコンピューターでは、以下の2つのスタンドが利用できます。

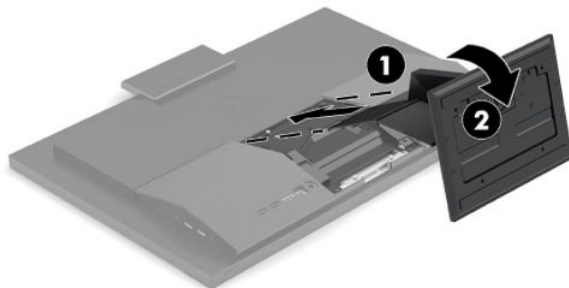
- 高さ固定スタンド
- 高さ調節可能なスタンド

高さ固定スタンドの取り付けおよび取り外し

高さ固定スタンドの取り付け

スタンドを取り付けるには、以下の操作を行います。

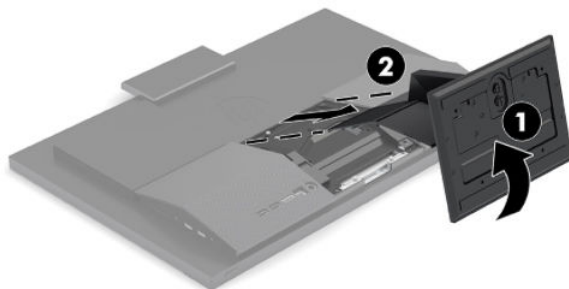
1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. スタンド上部のフックを、コンピューターの背面上部の2つの大きな穴にはめ込みます (1)。
3. スタンドを下方方向に回転させ (2)、カチッというまで押し込みます。



高さ固定スタンドの取り外し

スタンドを取り外すには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクやUSBフラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンして、コンピューターの電源を正しく切ります。次に、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
5. スタンドリリースラッチを押します。
6. スタンドを回転させて (1) コンピューターから取り外します。
7. スタンドのフックをスライドさせて (2)、コンピューターから取り外します。



高さ調節可能なスタンドの取り付けおよび取り外し

高さ調節可能なスタンドの取り付け

スタンドを取り付けるには、以下の操作を行います。

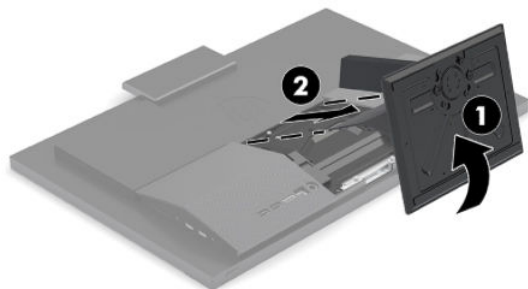
1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. スタンド上部のフックを、コンピューターの背面上部の2つの大きな穴にはめ込みます (1)。
3. スタンドを下方向に回転させ (2)、カチッというまで押し込みます。



高さ調節可能なスタンドの取り外し

スタンドを取り外すには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクやUSBフラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンして、コンピューターの電源を正しく切ります。次に、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
5. スタンドリリースラッチを押します。
6. スタンドを回転させて (1) コンピューターから取り外します。
7. スタンドのフックをスライドさせて (2)、コンピューターから取り外します。



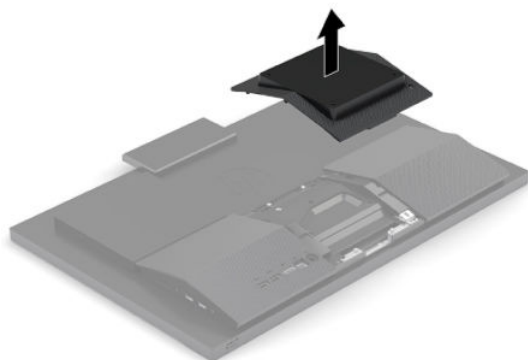
固定器具へのコンピューターの取り付け

コンピューターを、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

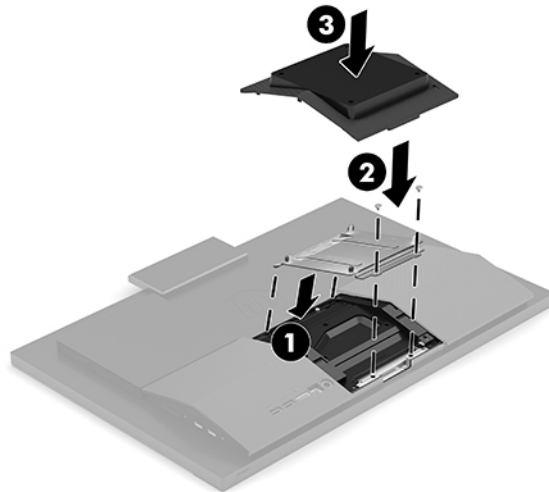
重要：このコンピューターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このコンピューターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 20 mm のネジを使用する必要があります。これらのネジは、コンピューターに付属しています。これより長いネジは、コンピューターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、コンピューターの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、コンピューターに付属の電源コードおよびその他のケーブルを使用してください。

注記：この装置は、UL または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

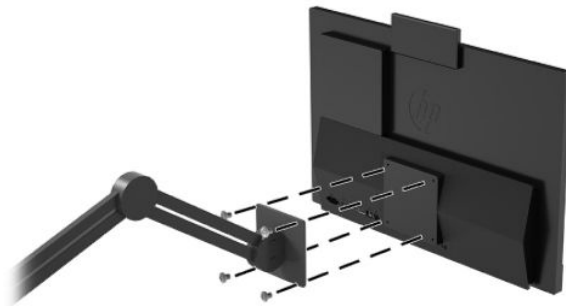
1. コンピューターの背面にある VESA 準拠のトリム プレートを取り外します。



2. VESA 準拠のマウントキットを、コンピューターの背面上部の2つの大きな穴に挿入し (1)、下方向に回転させます。
3. 2本のネジで VESA 準拠のマウントキットを固定します (2)。
4. VESA 準拠の付属のトリムプレートが正しい位置に固定されるまで、VESA 準拠の開口部に押し込みます (3)。



5. コンピューターをスイングアーム (別売) に取り付けるには、コンピューターに付属する4本の20 mm ネジを、スイングアームプレートにある穴に通してからコンピューターのネジ穴に差し込みます。



コンピューターを他の固定器具に取り付けるには、固定器具に付属の説明書に沿って操作して、コンピューターを安全に取り付けてください。

ケーブルの接続および取り外し

ケーブルの接続


1. 周辺機器のケーブルを適切なコネクタに接続します。
2. 電源コードをコンピューター背面の電源コネクタに差し込みます。

モニターの接続

コンピューターの背面のコネクタを使用すると、最大 2 台のモニターをコンピューターに接続できます。

追加するモニターに DisplayPort が装備されている場合は、ビデオアダプターは必要ありません。追加するモニターに DisplayPort が装備されていない場合は、お使いの構成に適したビデオアダプターを別途用意する必要があります。


DisplayPort アダプターおよびビデオケーブルは別売です。HP では、以下のアダプターを提供しています。

 **注記：** 取り扱い製品は国や地域によって異なります。

- DisplayPort - VGA アダプター
- DisplayPort - DVI アダプター

モニターを接続するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターおよびコンピューターに接続するモニターの電源を切ります。
2. モニターに DisplayPort が備わっている場合は、コンピューター背面の DisplayPort とモニターの DisplayPort を DisplayPort ケーブルで直接接続します。
3. モニターに DisplayPort が装備されていない場合は、DisplayPort ビデオアダプターをコンピューターの DisplayPort に接続します。次に、アダプターとモニターの間を構成等に応じて VGA または DVI ケーブルで接続します。
4. コンピューターおよびモニターの電源を入れます。

 **注記：** グラフィックスカードのソフトウェアまたは Windows®の[画面の設定]を使用して、モニターにコンピューターのディスプレイと同じ画面を表示するか、コンピューターディスプレイの画面を広げるように設定できます。

ケーブルの取り外し

1. コンピューター背面にセキュリティロックケーブルを取り付けている場合は、セキュリティロックケーブルを取り外す必要があることがあります。
2. コネクタからケーブルを取り外します。

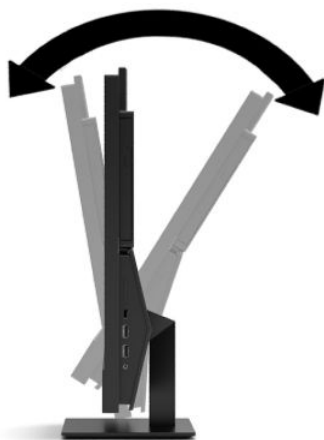
コンピューターの調整

このコンピューターには、モデルにより高さ固定スタンドまたは高さ調節可能なスタンドが付属しています。

高さ固定スタンドの調整

このスタンドでは、コンピューターをデスクトップの位置から-5度~20度まで傾斜させることができます。

コンピューターの傾斜角度を調整するには、コンピューターの上部と下部の両方をつかみ、適切な傾斜角度に調整します。



高さ調節可能なスタンドの調整

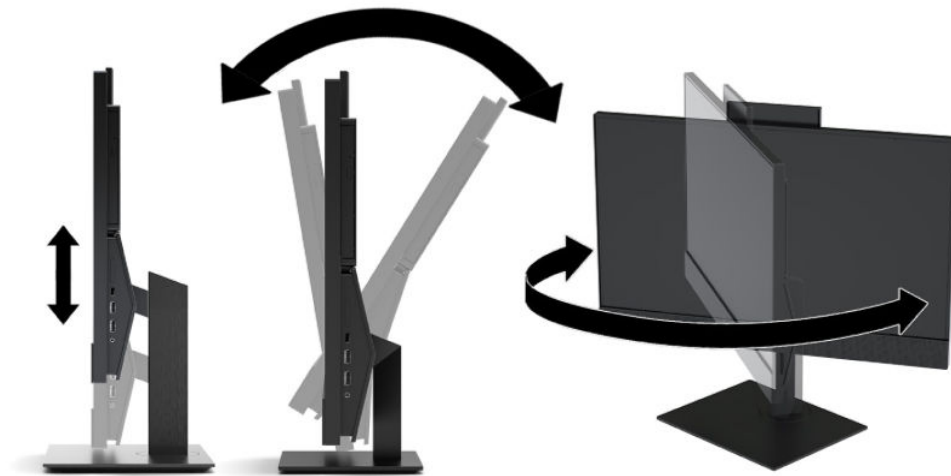
このスタンドでは、以下の操作ができます。

- コンピューターの高さを上下 11 cm の範囲で調節する
- コンピューターをデスクトップの位置から-5 度 ~ 20 度まで傾斜させる
- コンピューターを左右に最大 45 度回転する

コンピューターの高さを変更するには、コンピューターの両方の側面をつかみ、適切な高さまで持ち上げるか引き下げます。

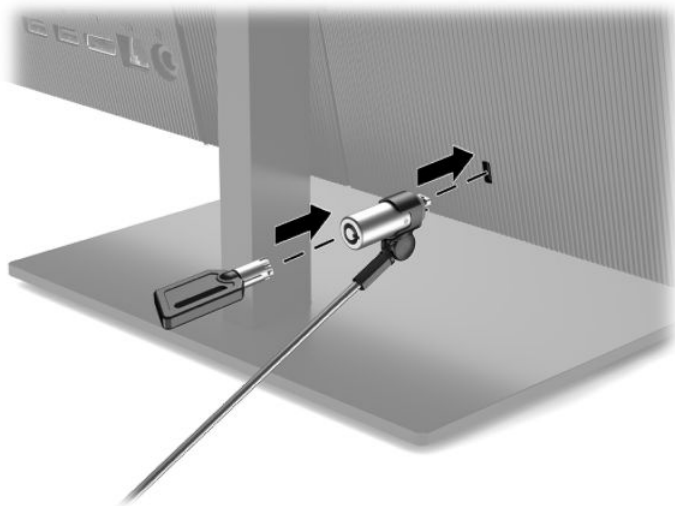
コンピューターの傾斜角度を調整するには、コンピューターの上部と下部をつかみ、適切な傾斜角度に調整します。

コンピューターの左右の向きを調整するには、コンピューターの両方の側面をつかみ、左または右に回転させます。



セキュリティロックケーブルの取り付け

セキュリティロックケーブルは、鍵でロックするワイヤケーブル付きのデバイスです。ケーブルの一方の端をデスク（またはその他の固定物）に取り付け、もう一方の端をコンピューターのセキュリティロックケーブル用スロットに取り付けます。鍵をかけて、セキュリティロックケーブルを固定します。

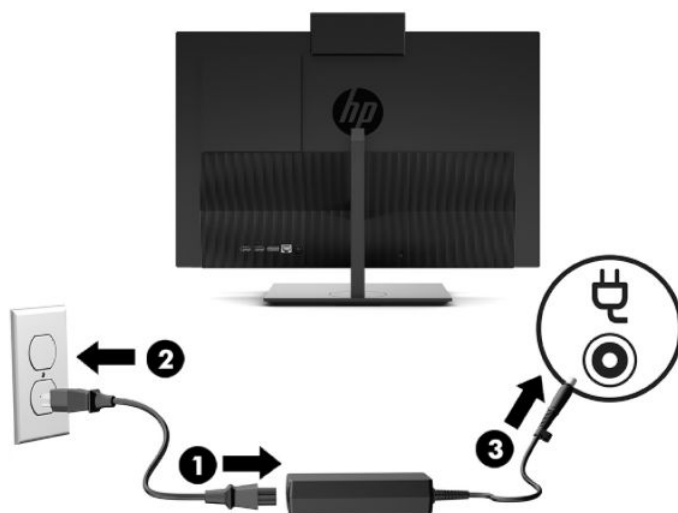


重要：セキュリティロックケーブルが取り付けられている場合は、コンピューターの傾斜調整、左右方向の回転または高さ調整を慎重に行ってください。ケーブルまたはロックが調整の妨げになることがあります。

電源の接続および切断

電源の接続

1. 電源コードの一方の端を外部電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、外部電源アダプターをコンピューターに接続します (3)。



2. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。

電源の切断

1. オプティカルディスクや USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンして、コンピューターの電源を正しく切ります。次に、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

Web カメラ

[Skype® for Business]がインストールされていれば、以下の方法で Web カメラを使用できます。

- オンライン ビデオ会議のストリーミング
- 会話中のセキュリティの維持

Web カメラの操作

- ▲ HP ProOne 600 21.5 インチまたは HP ProOne 400 23.8 インチ コンピューターでは、Web カメラを上げるとロックが解除されます。
または
HP ProOne 400 20 インチでは、Web カメラのシャッターを右方向にスライドさせると Web カメラが開きます。
- ▲ HP ProOne 600 21.5 インチまたは HP ProOne 400 23.8 インチ コンピューターでは、Web カメラをロックされるまで下方向に押すと Web カメラが閉じます。
または
HP ProOne 400 20 インチでは、Web カメラのシャッターを左方向にスライドさせると Web カメラが閉じます。

[Windows Hello]の設定

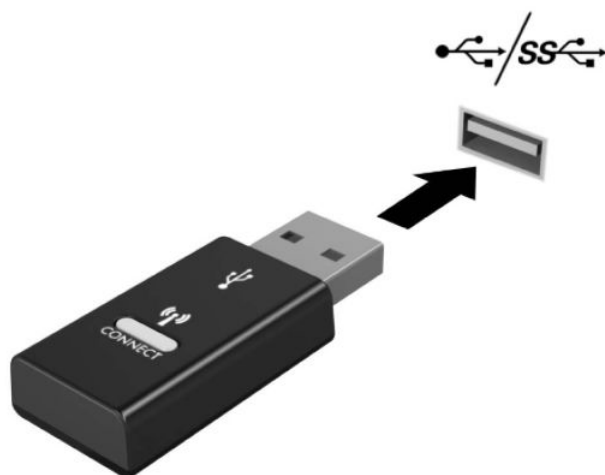
コンピューターに Windows 10 オペレーティングシステムがインストールされている場合は、以下の手順に沿って[Windows Hello]の顔認識を設定します。

1. **[スタート]ボタン→[設定]→[アカウント]→[サインイン オプション]**の順に選択します。
2. **[Windows Hello]**で画面の説明に沿って操作し、パスワードおよび 4 桁の PIN の両方を追加してから、指紋または顔の ID を登録します。

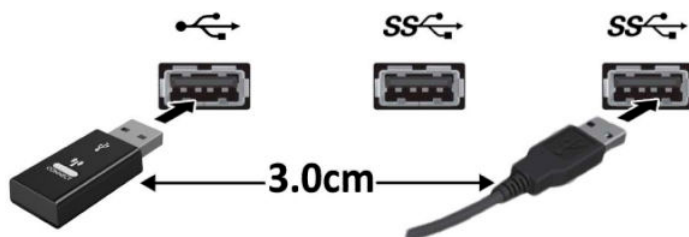
別売の無線キーボードおよびマウスの同期

マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。これらが動作しない場合、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、以下の操作を行って、ペアリングを手動で同期しなおしてください。

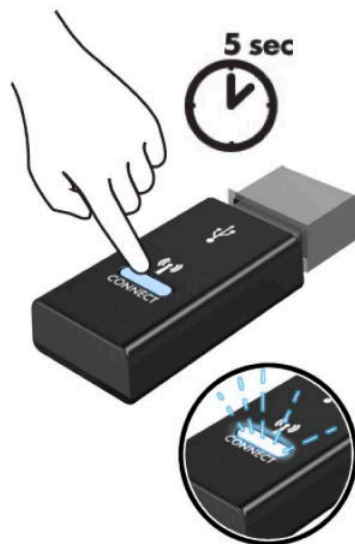
1. レシーバーをコンピュータの USB ポートに接続します。お使いのコンピュータに USB SuperSpeed ポートしかない場合は、レシーバーを USB SuperSpeed ポートに接続します。



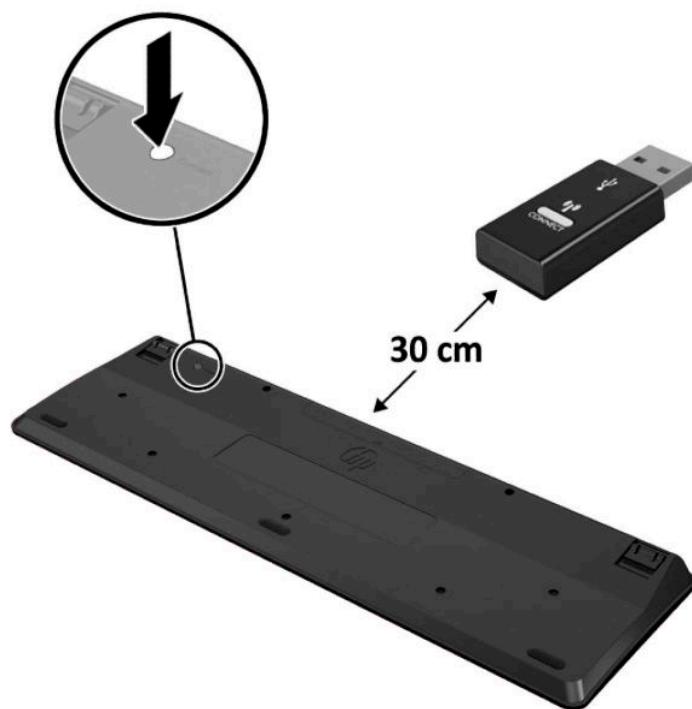
2. USB SuperSpeed デバイスの信号が干渉しないようにするには、レシーバーを USB SuperSpeed デバイスから少なくとも 3 cm 離します。



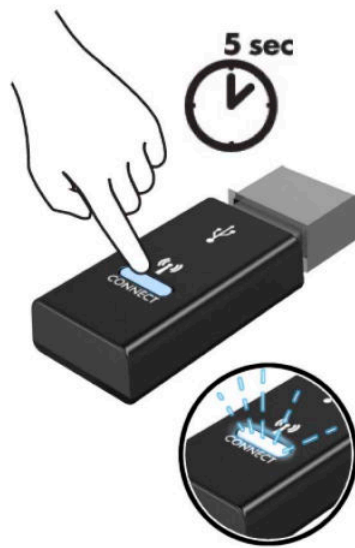
3. レシーバーの接続ボタンを約 5 秒間押し続けます。接続ボタンを押すと、レシーバーのステータスランプが約 30 秒間点滅します。



4. レシーバーのステータスランプが点滅している間に、キーボードの底面にある接続ボタンを 5~10 秒間押します。接続ボタンを放すと、レシーバーのステータスランプの点滅が止まり、デバイスが同期されていることが示されます。




5. レシーバーの接続ボタンを約 5 秒間押し続けます。接続ボタンを押すと、レシーバーのステータスランプが約 30 秒間点滅します。



6. レシーバーのステータスランプが点滅している間に、マウスの底面にある接続ボタンを 5~10 秒間押します。接続ボタンを放すと、レシーバーのステータスランプの点滅が止まり、デバイスが同期されていることが示されます。



 **注記：** それでもマウスおよびキーボードが動作しない場合は、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、キーボードおよびマウスの同期をやり直してください。

3 ハードウェアの修理およびアップグレード

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

⚠ 警告！ 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- カバーやパネル等を取り外す前に、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。内部には通電する部品が含まれています。
- 作業を行う前に、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 装置の電源を入れなおす前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体の背面のネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース (接地) してください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、製品とともに提供されているユーザー ガイドの中の『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択することで表示できます。

📄 重要： 静電気の放電によって、コンピューターや別売の電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[34 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

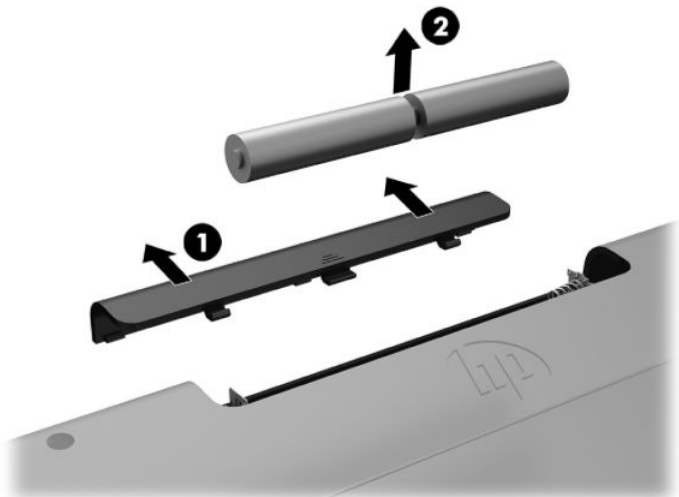
追加情報

ハードウェア コンポーネントの取り外しと取り付け、[HP Computer Setup]、およびトラブルシューティングについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/>に掲載されている、お使いのモデルのコンピューターの『Maintenance and Service Guide』(メンテナンスおよびサービスガイド、英語版のみ)を参照してください。

オプションの無線キーボードおよびマウスの電池の取り外し

 **注記：**無線キーボードおよびマウスは別売のコンポーネントです。

無線キーボードの電池を取り外すには、キーボードの底面にある電池カバーを取り外し (1)、電池を持ち上げて電池収納部分から取り出します (2)。



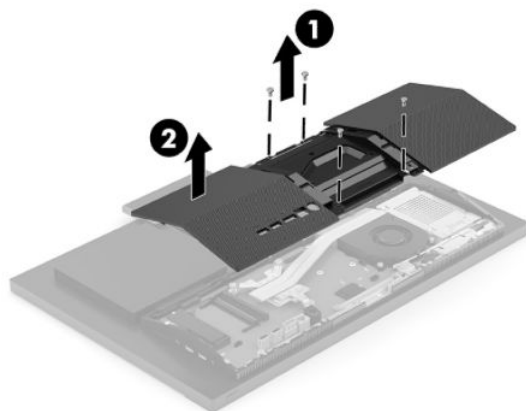
無線マウスの電池を取り外すには、マウスの底面にある電池カバーを取り外し (1)、電池を持ち上げて電池収納部分から取り出します (2)。



背面カバーの取り外しおよび取り付け

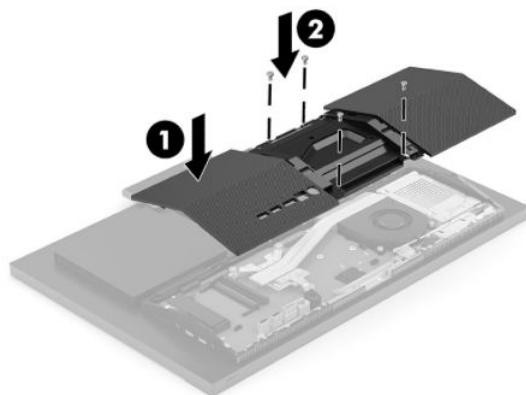
背面カバーの取り外し

1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. 背面コネクタカバーを固定している4本のネジを外し (1)、背面コネクタカバーのタブをスロットから抜いて、コンピューターから取り外します (2)。



背面カバーの取り付け

背面カバーとコンピューターの位置を合わせて、カバーのすべてのタブを所定の位置に押し込み (1)、カバーを取り外したときの4本のネジで固定します (2)。



内部部品の位置

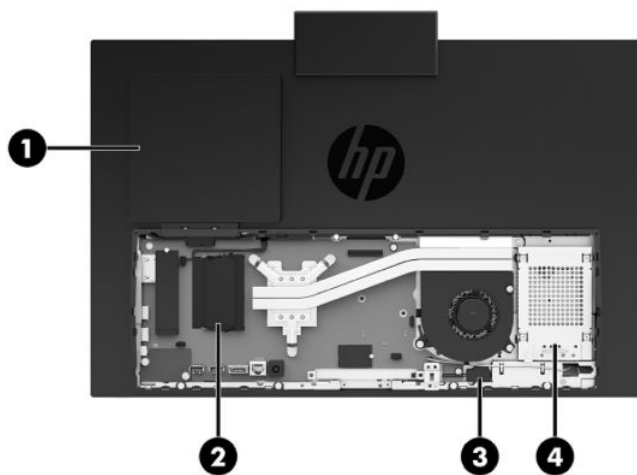


表 3-1 内部部品

内部部品			
(1)	光学ディスクドライブ (オプション)	(3)	RTC 電池
(2)	メモリ モジュール	(4)	ハードディスクドライブ

メモリの取り外しおよび取り付け

システムボード上にあるメモリスロットには、業界標準のスマートアウトラインデュアルインラインメモリモジュール (SODIMM) を2つまで取り付けることができます。これらのメモリスロットには、少なくとも1つのメモリモジュールが標準装備されています。金属製シールドはメモリモジュールを保護します。

メモリモジュールの仕様

システムのパフォーマンスを最大まで高めるには、以下の仕様を満たすメモリモジュールを使用することをおすすめします。

表 3-2 メモリの仕様

項目	仕様
メモリモジュール	1.2 ボルト DDR4-SDRAM メモリモジュール
準拠	アンバッファード非 ECC DDR4-2666 MHz SODIMM 準拠
ピン	JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している業界標準 260 ピン
サポート	CAS レイテンシ 19 (DDR4/2666 MHz、19-19-19 タイミング) をサポートしている
スロット	2
最大メモリ	1 メモリスロットあたり 16 GB、合計 32 GB
サポート対象	8 ギガビット (ベース) の非 ECC メモリテクノロジー片面および両面 SODIMM
注	サポートされない SODIMM メモリが取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。×8 および×16 の DDR デバイスで構成された SODIMM がサポートされます。×4 SDRAM で構成されたメモリモジュールはサポートされません

HP では、このコンピューター用のアップグレードメモリを提供しています。サポートされていない他社のメモリとの互換性の問題を回避するために、HP が提供するメモリを購入することをおすすめします。

メモリモジュールスロットへの取り付け

メモリモジュールのチャンネルの位置については、以下の表を参照してください。

表 3-3 メモリモジュールスロット

位置	システムボード上の表記	チャンネル
下側のスロット	SODIMM1	チャンネル B
上側のスロット	SODIMM3	チャンネル A

取り付けられているメモリ モジュールに応じて、システムは自動的にシングル チャンネル モード、デュアル チャンネル モード、またはフレックス モードで動作します。

- 1つのチャンネルのロットにのみメモリ モジュールが取り付けられている場合、システムはシングル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A のメモリ モジュールの合計メモリ容量とチャンネル B のメモリ モジュールの合計メモリ容量が等しい場合、システムはより高性能なデュアル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A のメモリ モジュールのメモリ容量とチャンネル B のメモリ モジュールのメモリ容量が異なる場合、システムはフレックス モードで動作します。フレックス モードでは、最も容量の小さいメモリが取り付けられているチャンネルがデュアル チャンネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングル チャンネルに割り当てられます。1つのチャンネルのメモリ容量が他方よりも多い場合は、多い方をチャンネル A に割り当てる必要があります。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いメモリ モジュールによって決定されます。

メモリ モジュールの取り付け


システム ボードには2つのメモリ スロットがあります。メモリ モジュールを着脱するには、以下の操作を行います。

1. [26 ページの内部部品的位置](#)を参照して、システム ボード上のメモリ モジュールの位置を確認します。
2. メモリ モジュールを取り出すには、メモリ モジュールの両側にある2つのラッチを外側に押し (1)、スロットからメモリ モジュールを引き出します (2)。



3. 新しいメモリ モジュールを約 30 度の角度でソケットに差し込み (1)、メモリ モジュールを押し下げてラッチを正しい位置に固定します (2)。



 **注記：**メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリ モジュールの切り込みとメモリ スロットのタブを合わせます。

4. コンピューターの電源を入れます。コンピューターの電源を入れたときに、増設したメモリが自動的に認識されます。

リアルタイムクロック用電池の交換

お使いのコンピューターに付属の電池は、リアルタイムクロック（RTC）に電力を供給するためのものです。電池は消耗品です。電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。コンピューターに付属の電池は、3V のボタン型リチウム電池です。

⚠ 警告！ お使いのコンピューターには、二酸化マンガンリチウム電池が内蔵されています。電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。けがをすることがないように、以下の点に注意してください。

電池を充電しないでください。

電池を 60°C を超える場所に放置しないでください。

電池を分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。

電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。

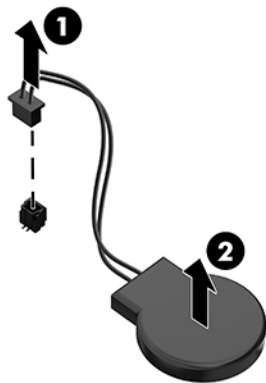
📌 重要： 電池を交換する前に、コンピューターの CMOS 設定のバックアップを作成してください。電池が取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。

📌 注記： リチウム電池の寿命は、コンピューターを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム電池は、コンピューターが外部電源に接続されていない場合にのみ使用されます。

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/>（英語サイト）を参照してください。

システムボード上の電池の位置については、[26 ページの内部部品の位置](#)を参照してください。

1. 電池を取り出すために、電池のケーブルを抜き（1）、電池をコンピューターから持ち上げます（2）。



2. 新しい電池を挿入するには、電池のケーブルを接続し、電池をコンピューターの中に押し込みます。
3. コンピューターの電源を入れます。
4. [HP Computer Setup]を使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステムセットアップを設定しなします。

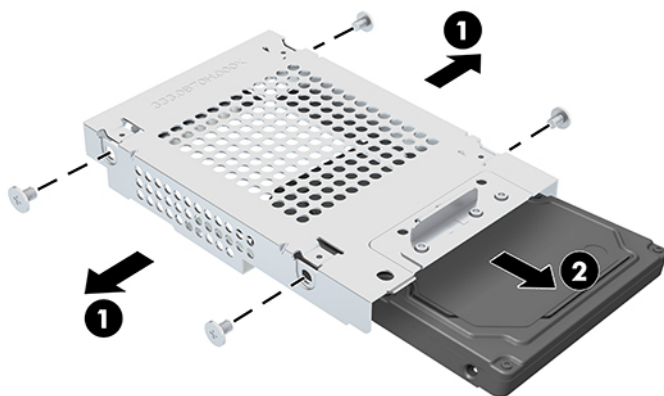
ドライブの交換

ハードディスクドライブの交換

コンピュータの右側に 2.5 インチのメインハードディスクドライブが取り付けられています。システムボード上のハードディスクドライブの位置については、[26 ページの内部部品の位置](#)を参照してください。

ハードディスクドライブの取り外し

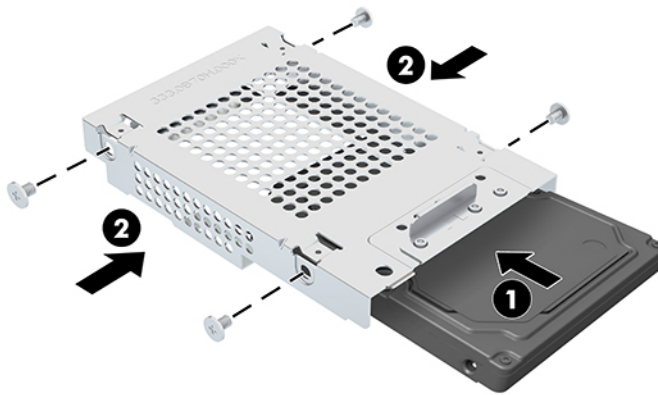
1. ハードディスクドライブをコンピュータに固定しているネジを取り外します。
2. ハードディスクドライブをコンピュータの端と逆方向にスライドさせ、コンピュータから持ち上げます。
3. 電源ケーブルおよびデータケーブルをハードディスクドライブから抜きます。これらのケーブルは、タブを引いて抜くことができます。
4. 2.5 インチ ハードディスクドライブ ケージから 4 本の取り付けネジを外します (1)。この 4 本のネジは、交換用ドライブの取り付けのために必ず保管しておいてください。ハードディスクドライブを取り外します (2)。



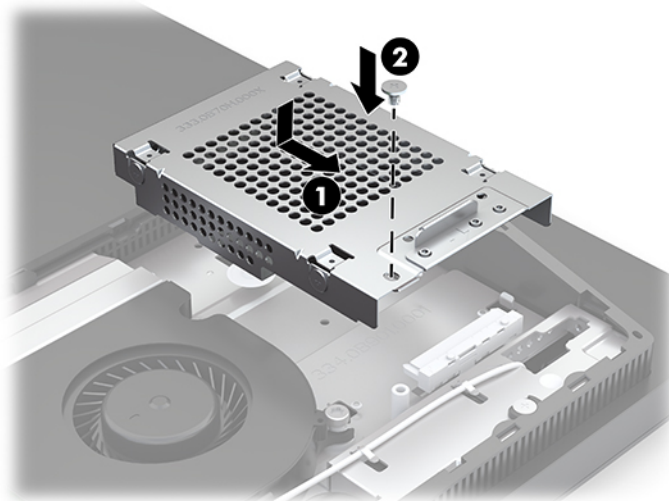
ハードディスクドライブを取り付ける方法について詳しくは、[32 ページの 2.5 インチハードディスクドライブの取り付け](#)を参照してください。

2.5 インチハードディスクドライブの取り付け

1. ハードディスクドライブをドライブケースに挿入し (1)、4 本の取り付けネジを新しい 2.5 インチハードディスクドライブに取り付けます (2)。




2. ハードディスクドライブのコネクタが電源ケーブルおよびデータケーブルの方を向くように、ハードディスクドライブをドライブケースの上に置きます。
3. 電源ケーブルおよびデータケーブルをハードディスクドライブに接続します。
4. ハードディスクドライブの位置を合わせ、コンピューターの端の方向にスライドさせて (1)、ハードディスクドライブが正しい位置に固定されるまで押し込みます。次に、ハードディスクドライブをネジで固定します (2)。

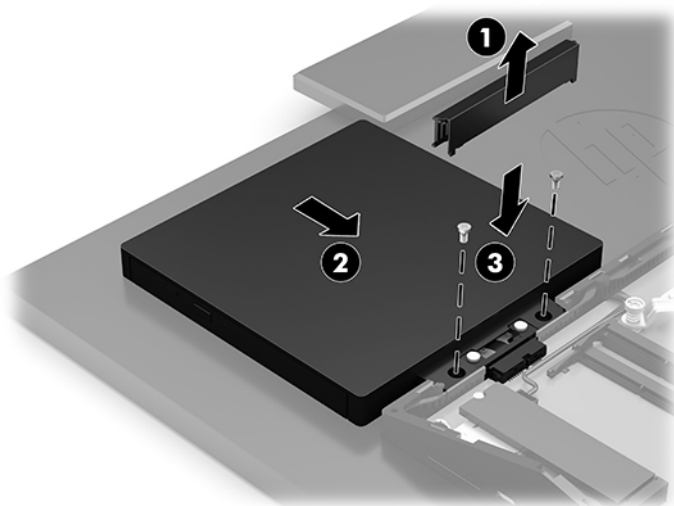


光学ディスクドライブの取り付け

光学ディスクドライブは、システムコンポーネントの上にあります。システムボード上の光学ディスクドライブの位置については、[26 ページの内部部品の位置](#)を参照してください。

- ▲ 光学ディスクドライブコネクタのカバーを取り外し (1)、光学ディスクドライブの筐体をスライドさせて、所定の位置まで押し込みます (2)。必要に応じて、2 本のネジで固定して安定性させます (3)。

 **注記：** 光学ディスクドライブは、一方向にのみ取り付け可能です。



A 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる場合があります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬時や保管時は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアース（接地）されている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アース（接地）の方法

静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアース（接地）を行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピューターおよびモニターの設置や手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。


- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、安定した平らな場所に設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面およびモニターの上部に、少なくとも 10 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなりますので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピューターのアクセスパネルまたは拡張カードスロットのカバーのどちらかを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピューターどうしを近くに置いたりしないでください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- 通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールするか有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。

- コンピューターやモニターの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
- 画面は、清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。
- コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。
- ベンゼン、シンナー、およびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーを画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、コンピューターが損傷するおそれがあります。

オプティカルディスクドライブの使用上の注意

オプティカルディスクドライブの操作や手入れは、以下の項目に注意して行ってください。

- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがありますので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があった場合は、1 時間以上待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる場所、または機械の振動がある所には置かないでください。

 **重要：**ドライブの中に異物や液体が入ってしまった場合は、直ちにコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて、HP のサポート窓口にて点検を依頼してください。


運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブのファイルを外付け記憶装置にバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないように注意します。

 **注記：**ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピューターからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

 **注記：**コンピューター内部のボードについては、それぞれのスロットにしっかりとめ込まれていることを確認します。

6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

C ユーザー サポート

ユーザー サポート

HP では、ダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワークライフバランスを自社の構造に組み込もうと日々努力しており、あらゆる業務にそれが反映されています。ここでは、世界中で人と技術力を結び付けることを重視したすべての人が活躍できる環境をつくるために、HP がどのように働き方に変化をもたらしているかについていくつかの例を挙げて説明します。

必要なテクノロジーツールの確認

テクノロジーは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。詳しくは、[38 ページの最適な支援技術の確認](#)を参照してください。

HP の取り組み

HP は、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、HP の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジーを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザー サポートにおける HP の目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、この HP ユーザー サポート ポリシーでは、HP の企業としての取り組みの指針となる 7 つの主要な目標が設定されています。HP のすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内でユーザー サポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザー サポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザー サポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザー サポート機能を文書化し、HP の製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方にもご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。
- HP の製品やサービスに関連する支援技術の向上につながる社内および社外での研究開発をサポートします。
- ユーザー サポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それらに貢献します。

IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザーサポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザーサポートの専門家のキャリア形成やキャリアアップを支援したり、企業がユーザーサポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込むようにすることを目標としています。

HP は設立メンバーであり、他の企業と協力してユーザーサポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザーサポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、私たちの業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org/> (英語サイト) にアクセスして、オンラインコミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジーを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持てるようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけでなく、お客様やパートナーとともに、ユーザーサポートに関する意識の向上に努めています。目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上するために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

ご自身のニーズの評価

テクノロジーは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

HP 製品のユーザーサポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザーサポート機能および支援技術 (該当する場合) について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立つリソースです。

- [HP Elite x3 - ユーザー補助オプション \(Windows 10 Mobile\) \(英語サイト\)](#)
- [HP PC - アクセシビリティオプション \(Windows 7\)](#)
- [HP PC - Windows 8 アクセシビリティオプション](#)
- [HP パソコン - Windows 10 のアクセシビリティオプション](#)
- [HP 7、Slate 7 タブレット - HP タブレット \(Android 4.1/Jelly Bean 搭載\) でのユーザー補助機能の有効化](#)
- [HP SlateBook PC - ユーザー補助機能を有効にする \(Android 4.2、4.3/Jelly Bean\)](#)

- [HP Chrome OS – HP Chromebook または Chromebox でユーザー補助機能をオンにする \(Chrome OS\)](#)
- [HP のショップ – HP 製品の周辺機器](#)

HP 製品のユーザーサポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[43 ページの HP のサポート窓口へのお問い合わせ](#)を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [Microsoft® のアクセシビリティ情報 \(Windows 7、Windows 8、Windows 10、Microsoft Office\)](#)
- [Google ユーザー補助機能 \(Android、Chrome、Google アプリ\)](#)
- [お困りの種類別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [製品別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [支援技術ベンダーと製品の説明 \(英語版\)](#)
- [ATIA \(Assistive Technology Industry Association\) \(英語版\)](#)

標準および法令

標準

FAR (Federal Acquisition Regulation : 連邦調達規則) に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術 (ICT) にアクセスできることを明記するために策定されました。この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジーに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェアアプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディア、および独立式の閉鎖型製品を対象とします。

Mandate 376 – EN 301 549 (欧州連合同向け)

The EN 301 549 standard was created by the European Union within Mandate 376 as the basis for an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the functional accessibility requirements applicable to ICT products and services, together with a description of the test procedures and evaluation methodology for each accessibility requirement.

WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)

W3C の WAI (Web Accessibility Initiative) によって公開された WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年配の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。WCAG は、さまざまな Web コンテンツ (テキスト、画像、オーディオ、動画) および Web アプリケーションによってユーザーサポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方も利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。

- **知覚可能**（画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど）
- **操作可能**（キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能）
- **理解可能**（読みやすさ、予測可能性、入力支援など）
- **堅牢性**（支援技術との互換性など）

法令および規制

IT および情報のユーザー サポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。このセクションの各リンクから、主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます（英語のみ）。

- [United States（米国向け）](#)
- [Canada（カナダ向け）](#)
- [Europe（欧州向け）](#)
- [United Kingdom（英国向け）](#)
- [Australia（オーストラリア向け）](#)
- [全世界](#)

United States（米国向け）

Section 508 of the Rehabilitation Act specifies that agencies must identify which standards apply to the procurement of ICT, perform market research to determine the availability of accessible products and services, and document the results of their market research. The following resources provide assistance in meeting Section 508 requirements:

- www.section508.gov
- [Buy Accessible](#)

The U.S. Access Board is currently updating the Section 508 standards. This effort will address new technologies and other areas where the standards need to be modified. For more information, go to [Section 508 Refresh](#).

Section 255 of the Telecommunications Act requires telecommunications products and services to be accessible to people with disabilities. FCC rules cover all hardware and software telephone network equipment and telecommunications equipment used in the home or office. Such equipment includes telephones, wireless handsets, fax machines, answering machines, and pagers. FCC rules also cover basic and special telecommunications services, including regular telephone calls, call waiting, speed dialing, call forwarding, computer-provided directory assistance, call monitoring, caller identification, call tracing, and repeat dialing, as well as voice mail and interactive voice response systems that provide callers with menus of choices. For more information, go to [Federal Communication Commission Section 255 information](#).

21st Century Communications and Video Accessibility Act (CVAA)（米国向け）

The CVAA updates federal communications law to increase the access of persons with disabilities to modern communications, updating accessibility laws enacted in the 1980s and 1990s to include new digital, broadband, and mobile innovations. Regulations are enforced by the FCC and documented as 47 CFR Part 14 and Part 79.

- [FCC Guide on the CVAA](#)

Other U.S. legislation and initiatives

- [Americans with Disabilities Act \(ADA\), Telecommunications Act, the Rehabilitation Act and others](#)

Canada (カナダ向け)

The Accessibility for Ontarians with Disabilities Act was established to develop and implement accessibility standards to make goods, services, and facilities accessible to Ontarians with disabilities and to provide for the involvement of persons with disabilities in the development of the accessibility standards. The first standard of the AODA is the customer service standard; however, standards for transportation, employment, and information and communication are also being developed. The AODA applies to the Government of Ontario, the Legislative Assembly, every designated public sector organization, and to every other person or organization that provides goods, services, or facilities to the public or other third parties and that has at least one employee in Ontario; and accessibility measures must be implemented on or before January 1, 2025. For more information, go to [Accessibility for Ontarians with Disability Act \(AODA\)](#).

Europe (欧州向け)

EU Mandate 376 ETSI Technical Report ETSI DTR 102 612: "Human Factors (HF); European accessibility requirements for public procurement of products and services in the ICT domain (European Commission Mandate M 376, Phase 1)" has been released.

Background: The three European Standardization Organizations have set up two parallel project teams to carry out the work specified in the European Commission "Mandate 376 to CEN, CENELEC and ETSI, in Support of Accessibility Requirements for Public Procurement of Products and Services in the ICT Domain."

ETSI TC Human Factors Specialist Task Force 333 has developed ETSI DTR 102 612. Further details about the work performed by STF333 (e.g., Terms of Reference, specification of the detailed work tasks, time plan for the work, previous drafts, listing of comments received and means to contact the task force) can be found at the [Special Task Force 333](#).

The parts relating to the assessment of suitable testing and conformity schemes were carried out by a parallel project, detailed in CEN BT/WG185/PT. For further information, go to the CEN project team website. The two projects are closely coordinated.

- [CEN project team](#)
- [European Commission mandate for e-accessibility \(PDF 46KB\)](#)

United Kingdom (英国向け)

The Disability Discrimination Act of 1995 (DDA) was enacted to ensure that websites are accessible to blind and disabled users in the United Kingdom.

- [W3C UK Policies](#)

Australia (オーストラリア向け)

The Australian government has announced their plan to implement [Web Content Accessibility Guidelines 2.0](#).

All Australian government websites will require Level A compliance by 2012, and Double A by 2015. The new standard replaces WCAG 1.0, which was introduced as a mandated requirement for agencies in 2000.


全世界

- [JTC1 SWG-A \(Special Working Group on Accessibility\) \(英語サイト\)](#)
- [G3ict: The Global Initiative for Inclusive ICTs \(英語サイト\)](#)

- [イタリアのユーザー サポート法令 \(イタリア語サイト\)](#)
- [W3C WAI \(Web Accessibility Initiative\) \(英語サイト\)](#)

ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記：**この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

組織 (英語のみ)

- AAPD (American Association of People with Disabilities)
- ATAP (Association of Assistive Technology Act Programs)
- HLAA (Hearing Loss Association of America)
- ITTATC (Information Technology Technical Assistance and Training Center)
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf
- National Federation of the Blind
- RESNA (Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America)
- TDI (Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.)
- W3C WAI (Web Accessibility Initiative)

教育機関 (英語のみ)

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

障がいに関するその他のリソース (英語のみ)

- ADA (Americans with Disabilities Act) Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum (欧州障害フォーラム)
- Job Accommodation Network
- Microsoft Enable
- 米国司法省 : A Guide to Disability Rights Laws

HP のリンク

[お問い合わせの Web フォーム（英語サイト）](#)

[HP の『快適に使用していただくために』（言語を選択してください）](#)

[HP の公的機関への販売（米国向け）](#)

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのお問い合わせ先またはサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> または <https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。説明に沿ってお使いの製品を探します。

索引

記号/数字

508 条のユーザー サポートに関する標準 39, 40

A

AT (支援技術)

確認 38

目的 37

D

DisplayPort ビデオ アダプター、接続 15

H

HP ProOne 400

各部 6

HP ProOne 600

各部 2

HP 支援ポリシー 37

I

International Association of Accessibility Professionals 38

S

SODIMM

位置 27

識別 27

仕様 27

V

VESA 準拠の取り付け穴 13

W

Web カメラ 19

Windows Hello 19

操作 19

Windows Hello 19

あ

アースの方法 34

う

運搬時の注意 36

お

オプティカルディスクドライブ

使用上の注意 36

取り付け 33

か

各部

HP ProOne 400 6

HP ProOne 400 の前面 6

HP ProOne 400 の側面 7

HP ProOne 400 の底面 8

HP ProOne 400 の背面 8

HP ProOne 600 2

HP ProOne 600 の前面 2

HP ProOne 600 の側面 3

HP ProOne 600 の底面 5

HP ProOne 600 の背面 4

き

キーボード

機能 9

電池の取り外し 24

無線の同期 20

機能

概要 1

キーボード 9

け

警告および注意 23

ケーブル

接続 15

取り外し 15

こ

コンピューター操作のガイドライン 35

コンピューターの取り付け 13

さ

サポート窓口、ユーザー サポート 43

し

支援技術 (AT)

確認 38

目的 37

仕様、メモリ 27

シリアル番号

位置 9

す

スタンド

高さ固定、取り付け 11

高さ固定、取り外し 11

高さ調節可能、取り付け 12

高さ調節可能、取り外し 12

調整 16

取り付けおよび取り外し 10

せ

前面の各部

HP ProOne 400 6

HP ProOne 600 2

静電気対策、損傷の防止 34

セキュリティ

背面カバー、取り付け 25

背面カバー、取り外し 25

セキュリティロックケーブル 18

接続

ケーブル 15

電源コード 15

モニター 15

セットアップ、順序 10

そ

側面の各部

HP ProOne 400 7

HP ProOne 600 3

た

高さ固定スタンド 11

調整 16

取り付け 11

取り外し 11

高さ調節可能なスタンド 12
調整 17
取り付け 12
取り外し 12

つ
追加情報 23
通気のガイドライン 35

て
電源
接続 18
切断 19
電源コード
接続 15
取り外し 15

電池
交換 30
取り外し 30

底面の各部
HP ProOne 400 8
HP ProOne 600 5

と
取り付け
オプティカルディスクドライブ 33
ガイドライン 23
電池 30
ハードディスクドライブ 32
メモリ 28
取り外し
ケーブル 15
電源コード 15
ハードディスクドライブ 31

な
内部部品 26

は
ハードディスクドライブ
交換 31
取り付け 32
取り外し 31
背面カバー
取り付け 25
取り外し 25

背面の各部
HP ProOne 400 8
HP ProOne 600 4

ひ
標準および法令、ユーザー サポート 39

ま
マウス
電池の取り外し 24
無線の同期 20

む
無線キーボードおよびマウスの同期 20

め
名称
内部 26
メモリ 27
SODIMM の仕様 27
仕様 27
スロット 27
取り付け 28
取り外し 28

も
モニターの接続 15

ゆ
ユーザー サポート 37
ユーザー サポートに必要な評価 38

り
リソース、ユーザー サポート 42

ろ
ロック
セキュリティ ロック ケーブル 18